

# **Installation Qualification**

## **据付時適格性確認(IQ)**

### **(水分計用)**



# 据付時適格性確認(IQ)



目次	ページ
1. 据付時適格性確認の説明	3
2. 機器情報	4
3. 据付時適格性確認チェックシート	5
4. 文書管理	5
5. 据付時適格性確認の完了	6

# 据付時適格性確認(IQ)



## 1. 据付時適格性確認の説明

据付時適格性確認では、新規に設置された機器が仕様に基づいて正しく納品され、またその設置が適切に実施されたことを確認し、文書化する。

以下、据付時適格性確認での検査項目について記す。

### 1.1 梱包内容

ここでは機器が仕様通りに正しく納品されたことを確認し、文書化する。標準品については取扱説明書の梱包内容を参照。付属のオプション・アクセサリーに関しては、それらの部品番号やシリアル番号などを明記。

### 1.2 設置条件

設置環境は水分計の性能に影響を及ぼすため、取扱説明書の設置条件を満たさなければならない。また、機器の組み立ても取扱説明書に準じて行う。以下、チェック項目を記す。

- 設置環境の確認。
  - 温度：5～40℃、湿度：85%RH 以下（結露しないこと）
- 設置する台は堅固な物を使用し、振動を避ける。
- エアコン等による風を受けない場所に設置する。
- 閉ざされた設置環境で使用しない。
- 水分計の周囲に燃えやすいものを置かない。
- 水平器の赤い円の中に気泡が入るように、足コマを回して水分計の水平を合わせる。
- 水分計にオプション・アクセサリーを正しく接続する。
- ケーブルが邪魔にならないように、また破損ないように配線する。

### 1.3 文書管理

取扱説明書や検査成績書などの全ての関連文書は安全な場所に保管し、その場所も記録する。

# 据付時適格性確認(IQ)



## 2. 機器情報

### 水分計本体

製造者	機器の受取日
モデル	シリアル番号
最大ひょう量	設置場所
最小表示	管理者
備考： _____	
_____	
_____	
_____	

### オプション・アクセサリ

部品番号	名称	シリアル番号
備考： _____		
_____		
_____		
_____		

# 据付時適格性確認(IQ)



## 3. 据付時適格性確認チェックシート

チェック項目	合格	不合格
納品された水分計、及びその他オプションやアクセサリーが、発注内容と合致する。		
水分計の外観検査による外的損傷の検証。		
機器に適した設置環境か？ (設置環境詳細は取扱説明書参照)		
取扱説明書に従って設置し、問題なく電源がオンになるか確認する。		
備考： _____ _____ _____ _____		

## 4. 文書管理

文書名	文書管理番号	保管場所
取扱説明書		
備考： _____ _____ _____ _____		

# 据付時適格性確認(IQ)



## 5. 据付時適格性確認の完了

据付時適格性確認は、株式会社エー・アンド・デイの定める手順によって実施、  
検証、承認されました。ここに水分計の設置が無事完了したことを証明します。

### 検査者

会社名：

\_\_\_\_\_  
名前：

\_\_\_\_\_  
署名：

\_\_\_\_\_  
日付：

\_\_\_\_\_

### 管理者

会社名：

\_\_\_\_\_  
名前：

\_\_\_\_\_  
署名：

\_\_\_\_\_  
日付：

\_\_\_\_\_